 有明	工業高等	 専門学校	開講年度	₹ 令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	電子回路			
—— <u>157.</u> 科目基礎		VI. [ [ 147	<i>ور ۱</i> <del>دا</del> ورارا	<u>ξ   ΙΙΛΙΙΟΙ   ΤΙΧ. (Σ</u>	1022 <del>+1</del> 2)					
17日				科目区分		専門 / 必修	専門 / 必修			
授業形態							学修単位: 1			
開設学科				ース)	対象学年	4	4			
開設期		後期			週時間数	後期:1	後期:1			
教科書/教	材	電子回路	各:須田健二,土田	3英一, コロナ社						
担当教員		清水 暁	生							
到達目標	票									
2. 発振[ 3. AD/[ 4. マル <del>]</del>	回路の動作る DA変換の仕 チバイブレ-	らよび特徴な 組みおよび	作を理解できる。 を理解できる。 動作を理解できる。 および動作を理解で	, ごきる。						
ルーブリ	<u> </u>				T		1			
			理想的な到達レベルの目安標準的な到達							
評価項目1			理想的でない。 回路の特性を	理想的でない演算増幅器を用いた 回路の特性を計算できる。 演算増幅器の特 的な演算増幅器 性を計算できる			がでは、理想が表現である。 理想的な演算 である でいた 回路の特の特性を計算			
評価項目2			数を計算でき					発振回路の特徴を理解できない。		
評価項目3			AD変換に必要 数を計算でき DACの動作を	なサンプリング周波 , 各種ADCおよび 説明できる。	ンプリング周波   AD/DA変換システムを理解し LADCおよび   , ADCおよびDACの種類を説明で   , きる。			を換の仕組み	を理解できな	
学科の到	到達目標項	<u>——</u> 目との								
	育到達度目標									
教育方法	去等									
既要		本科目で的に求めて翌朝ま	では,アナログ電子 かる目的で等価回路 を目指す。	アロ路の基本的事項に その考え方が重要である。	ついて理解する。アラ るため,本科目では	ナログ電子回路に 基本的なアナログ	おいては	, 目的であっ する等価回	る結果を効率 路の取り扱い	
 授業の谁 <sup>រ</sup>	 め方・方法			・ ・ ・ ・ 演習問題などを	 行う。					
主意点	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			<u>超,浜田門をはこと</u> 髪修していること。また		理数系に関する	る科目を履	修している。	 こと。	
	 属性・履修		•	2,70 (1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<u> </u>	220000000	711H C/IX	120 61 0	<u> </u>	
	<u> ガル //タル</u> ティブラーニ		」 □ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務網	区除のおろき	 教員による授美	
	, 1 J J <u> </u>		וה וכו הוויה					エッスマンひご	KKICO OIX	
授業計画	 動									
[又未可四	<u> </u>	週	極業中容		<u>\</u>	ブレの到去日博				
				授業内容			週ごとの到達目標			
		1週	演算増幅器			演算増幅器の特徴と理想的な演算増幅器について理できる。 反転増幅回路および非反転増幅回路の伝達特性を計			にしついて建門	
		2週	反転増幅回路と非	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					達特性を計算	
						できる。				
	3rd0	3週	演算増幅器を用い			演算増幅器を用いた回路の伝達特性を計算できる。				
	3rdQ	4週	実際の演算増幅器	<u> </u>		理想的でない演算増幅器について理解できる。				
		5週	発振回路の基礎			発振回路の原理を理解できる。				
		6週	LC発振回路			LC発振回路の特徴を理解し、発振条件を計算できる				
		7週	RC発振回路			RC発振回路の特徴を理解し、発振条件を計算できる。				
<b></b>		8週	中間試験		7k	    水晶発振回路の特徴を理解し、発振条件を計算できる				
	4thQ	9週	水晶発振回路		٥	0				
		10週	変調復調回路			変調復調回路の構成と特徴を理解できる。				
		11週	AD/DA変換シス	テム		AD/DA変換の概要と回路構成につ サンプリング周波数を計算できる。			≇解し,必要な	
		12週	ADコンバータ			<u>ファックラス (1) (2)</u> Dコンバータの種			を理解できる。	
		13週	DAコンバータ			DAコンバータの種類と回路構成,特徴を理解できる 集積回路の特徴を理解し、その種類と設計手法を理 できる。				
		14週	集積回路							
		15週								
	<u> </u>	16週		S案返却および解説 ************************************						
	コアカリコ		D学習内容と到	T	_			I	. 1.=	
		分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル		
分類				演算増幅器の特性を説明できる。				4	後1 後2,後3,後	
<u>分類</u>				演算増幅器を用いた	演算増幅器を用いた基本的な回路の動作を説明できる。 一 発振回路の特性、動作原理を説明できる。			4	佐2,佐3,依  4	
分類 専門的能な	カ 分野別 <i>の</i> 門工学	)専 電気 · 系分野	電子 電子回路	※15日のかれませ 3	おん百乗も翌四元十二	z		4		
	力 分野別の門工学	)専 電気・ 系分野	· 電子 電子回路 野 間子回路					4		
	力 分野別の門工学	)専 電気・ 系分野	電子回路		動作原理を説明できる 特性、動作原理を説明			4	後5,後6,後 7,後9 後10	
専門的能え		京 電気 系分野	電子 電子回路						後5,後6,後 7,後9	
			電子 電子回路 電子回路 発表		持性、動作原理を説明		その他	4	後5,後6,後 7,後9	

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0